

(予算規模など)

新年度予算をはじめとする諸案件のご審議をお願いするに先立ち、市政運営の基本的な考え方と、重点的に取り組む施策について、私の所信の一端を申し述べます。

令和8年度は、高梁市総合計画後期基本計画の初年度であり、本市の未来に向けて新たな一歩を踏み出す、極めて重要な節目の年であります。

後期基本計画では、本市が直面する人口減少という大きな課題に対応するため、計画全体の方向性を明確にし、重点目標として「幸福度の向上」と「人口減少の克服」を掲げています。人口が減少する中であっても、市民一人ひとりが安心して暮らし、幸せを実感できるまちづくりを進めるとともに、将来にわたり地域の活力や行政サービスを維持していくため、人を呼び込み、定着を促す取り組みを推進します。これら二つの目標を両輪として、持続可能なまちづくりを進めていくこととしています。

総合計画に掲げる都市像「健幸都市たかはし」の実現に向け、人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況といった複合的な課題に直面する中であっても、市民一人ひとりが健やかで幸せを実感しながら暮らし続けられるまちを目指し、あらゆる分野において重点目標に資する施策を着実に推進してまいります。

こうした認識のもと、令和8年度予算は、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、次なる段階へと歩みを進めるための「挑戦と創造の予算」として編成いたしました。

まず、令和8年度当初予算の規模について申し上げます。

一般会計の予算規模は、249億2千万円とし、前年度に比べ3億2千万円、率にして1.3%の増となっております。

また、国民健康保険事業や介護保険事業など、11の特別会計の総額は104億1,373万7千円で、前年度と同程度の規模となっております。

さらに、病院事業、水道事業、下水道事業などの公営企業会計は63億7,101万5千円となり、前年度に比べ減少しております。

厳しい財政状況ではありますが、限られた財源の中で、将来に向けた投資と市民生活を守る施策を両立させる、メリハリのある予算といたしました。

歳入につきましては、市税収入は人口減少や経済情勢の影響を受け、引き続き厳しい見通しとなっております。

一方で、有漢工業団地造成事業の売却に伴う繰入金の増や、国の補正予算による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金など、活用可能な財源を最大限確保し、必要な施策に充当しております。

また、財源調整のため、財政調整基金から5億円の繰入れを行うこととしておりますが、年度末の残高につきましては、約15億5千万円程度を確保できる見込みであり、将来への一定の備えを維持する予算編成としております。

厳しい財政状況にあるからこそ、短期的な対応にとどまらず、中長期的な視点に立った財政運営を行うことが重要であると考えております。

歳出につきましては、人件費や社会保障関係経費などの義務的経費が増加する中にもあっても、事業の必要性や費用対効果を厳しく精査し、選択と集中の考え方のもと、重点化を図りました。

特に、普通建設事業費につきましては、屋内運動場の空調の設計、学校施設のトイレ改修や照明のLED化、内水排除施設整備など、市民生活の安全・安心に直結する分野に重点的に配分しております。

また、経常経費などにつきましては、自治体情報システム標準化に関する一部業務委託が終了したことなどにより全体として減少しておりますが、こうした要因にかかわらず、引き続き経費全般の精査と見直しを徹底し、単なる歳出拡大とならないよう、財政規律の確保に努めました。

(令和8年度重点施策)

次に、令和8年度に取り組むべき重点施策についてご説明申し上げます。

重点施策の第一は、「健幸都市たかはしの実現」であります。

本市が目指す都市像は、「健幸都市たかはし」であり、子どもから高齢者まで、すべての世代が心身ともに健やかで、安心して暮らし続けられるまちづくりを、あらゆる分野において推進してまいります。

子育て支援につきましては、子育て世帯への訪問支援の充実など、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築に取り組みます。

併せて、こうした施策の効果検証や今後の政策形成につなげていくため、人口減少の要因分析を行い、施策立案の高度化を図ります。

また、国において学校給食費の負担軽減に向けた検討が進められていることを踏まえ、本市では、市費による不足分の負担を行い、小学校の給食費の完全無償化を実施いたします。

あわせて、物価高騰による子育て世帯の負担軽減を図るため、給食材料費の支援として、私立こども園における材料費高騰分への補助や、公立中学校・園における高騰分の市費負担を行います。

これらの取組を通じて、家庭の経済状況に左右されることなく、すべての子どもが

健やかに成長できる子育て支援の充実を図ってまいります。

また、若い世代からの健康づくりとして、妊娠前からの健康意識の醸成を図る取組を進めるとともに、妊娠前から重要な栄養素である葉酸サプリメントの配布などを通じ、女性の健康づくりを支援するなど、将来を見据えた施策を展開してまいります。

さらに、障がいの有無や年齢、生活環境の違いにかかわらず、誰もが地域で安心して暮らせる共生社会の実現に向け、手話に対する理解の促進をはじめとする社会的障壁のない環境づくりを進めてまいります。令和 8 年度には、「第 9 回全国手話言語市区長会手話劇祭」を本市で開催し、手話や多様なコミュニケーションへの理解を深める機会とするとともに、共生社会の理念を広く市民と共有してまいります。

医療分野では、小児科医、産婦人科医や助産師によるオンラインによる健康医療相談や、救急相談体制の整備を進め、市民がいつでも安心して相談できる環境づくりに努めるとともに、物価高騰の影響を受ける医療・福祉施設への支援を行ってまいります。

重点施策の第二は、「人の流れを生み、地域の力を高める取組」であります。

本市の持続的な発展には、人を呼び込み、定着につなげる取組が不可欠であります。

移住・定住の促進に向け、子育て世帯向け賃貸住宅の整備支援において、既存建築物の除去費用に対する加算メニューを追加することで、住宅整備の円滑化を図ります。あわせて、Uターンや孫ターンを後押しするとともに、人口減少により増加する空き家対策として、市内で使われなくなった空き家の解体・撤去を行う者に対し補助金を交付し、良好な住環境の形成につなげてまいります。

あわせて、地域との関わりを深める「関係人口」の創出に取り組み、地域に新たな活力をもたらす循環を生み出してまいります。

市民が主役となるまちづくりを進めるため、集落支援員の配置など、地域に寄り添った伴走型の支援も進めてまいります。

重点施策の第三は、「学び・産業・観光を通じた地域の活性化」であります。

教育・文化の分野では、中学校部活動の円滑な地域展開を進めるとともに、本市で発見された貴重な魚竜化石を活用した教育普及活動を通じて、郷土への誇りと学びの充実を図ります。

地域経済の分野では、物価高騰の影響により個人消費が落ち込み、地域経済が低迷する中、住宅リフォーム事業を実施することにより、市内における消費喚起と地域経済の活性化を図るとともに、地元建築事業者等の受注機会の拡大を通じて、地域内経済循環の強化に取り組みます。

また、雇用の確保に向けては、企業支援策の充実を図るとともに、第2期有漢工業団地への企業誘致を推進し、新たな雇用の創出を通じて、地域経済の持続的な成長と雇用環境の改善に取り組みます。

農業分野では、有害鳥獣被害対策や畜産農家への支援をはじめ、営農環境の維持・改善に取り組み、農業経営の安定化を図ります。

あわせて、担い手不足や高齢化といった課題を踏まえ、新規就農者や若手農業者の確保・育成、経営の効率化や付加価値向上に向けた取組を支援することで、将来にわたり持続可能な農業の確立と地域農業の活性化を目指します。

観光分野では、令和9年度開催予定の「森の芸術祭」に向けた関連事業を通じて、本市の魅力発信と市民参画の促進を図ってまいります。

重点施策の第四は、「暮らしを支える基盤整備とデジタル化の推進」であります。

都市機能の維持・向上に向け、公園整備や空き家対策、公共交通の確保に取り組み、市民の暮らしの利便性と安全性を高めてまいります。

あわせて、各種証明のコンビニ交付サービスの導入など、デジタル技術を活用した行政サービスの向上を進め、市民の負担軽減と行政の効率化を図ります。

環境分野では、再生可能エネルギーの導入支援などを通じ、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

重点施策の第五は、「持続可能な行財政運営」であります。

本市の財政状況は依然として厳しい状況にありますが、将来世代への責任を果たすため、行財政改革を不断に進めていく必要があります。

これまでの行財政改革プランに加え、新たに策定する「行財政改革強化集中プラン」に基づき、すべての事業について必要性や費用対効果を徹底的に検証し、「選択と集中」による持続可能な行財政運営を目指してまいります。

また、国の交付金等の財源も最大限活用しながら、将来への投資と市民生活の安定を両立させる予算といたしました。

人口減少社会にあっても、悲観するのではなく、知恵と工夫、そして挑戦によって未来を切り拓いていくことが求められています。

私は、市民の皆さまと力を合わせ、「健幸都市たかはし」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでまいります決意であります。